

軍隊組織による戦前日本の軍国化

Hajný Jan (ハイニー・ヤン)

(カレル大学(チェコ)、博士課程後期)

1. 研究テーマの選択理由
 - 1.1. 明治時代における政治的・社会的変化
 - 1.2. 20 世紀初頭の自由化
 - 1.3. 現代化過程に潜んだ破壊的要素
 - 1.4. 軍国化過程における軍隊と国民の関係
2. 在郷軍人団の形成
 - 2.1. 徴兵制の導入
 - 2.2. 地域社会での集団活動
 - 2.2.1. 日本農業の特徴、協力の必要性
 - 2.2.2. 年齢制限集団
 - 2.2.3. ヨーロッパ地域社会との類似点
 - 2.3. 在郷軍人団の活動
 - 2.4. 在郷軍人団乱用の可能性
 - 2.5. 会員数増加の原因
 - 2.5.1. 徴兵制・武力紛争の影響
 - 2.5.2. 庶民の軍事的価値観の変化
 - 2.6. 日露戦争直後の状況
3. 帝国在郷軍人会の創立過程
 - 3.1. 創立者
 - 3.1.1. 人間関係の背景、長州閥
 - 3.1.2. 山県有朋
 - 3.1.2.1. 山県のイデオロギー、軍事的教育の概念
 - 3.1.2.2. 帝国在郷軍人会のモデル：ドイツ在郷軍人会
 - 3.1.2.2.1. 小島惣次郎のドイツ調査報告
 - 3.1.2.2.2. ドイツの組織と帝国在郷軍人会との相違点
 - 3.1.3. 田中義一
 - 3.2. 組織の草案
 - 3.3. 地域自治体組織的構造の利用
 - 3.4. 帝国在郷軍人会の創立
4. その他の軍隊組織

- 4.1. 大日本青年団
 - 4.1.1. 先行集団：若者組み
 - 4.1.2. 在郷軍人会と統一前の若者組みとの関係
 - 4.1.3. 青年団の創立過程
 - 4.1.4. 青年団の内容の段階的変化
- 4.2. 青年訓練所、青年学校
- 4.3. 大日本国防婦人会
 - 4.3.1. 軍隊の女性に対する見解の変化
 - 4.3.2. 1930年代における社会的風土の変化
 - 4.3.3. 政情変化が影響を及ぼした女性団体の発生
 - 4.3.4. 女性団体の統一、国防婦人会の創立
5. 結論
 - 5.1. 軍部が成功した原因の解析
 - 5.1.1. 非暴力的取り組み
 - 5.1.2. コミュニティに対する義務感と天皇への忠誠
 - 5.2. 今後の課題